

第4回 ふじさわサイクルプラン 推進連絡協議会

平成28年2月16日（火）

藤 沢 市

1

次 第

1. 開 会

2. 成立宣言

3. 報告事項

- (1) 平成27年度供用箇所
- (2) 平成28年度事業箇所（案）

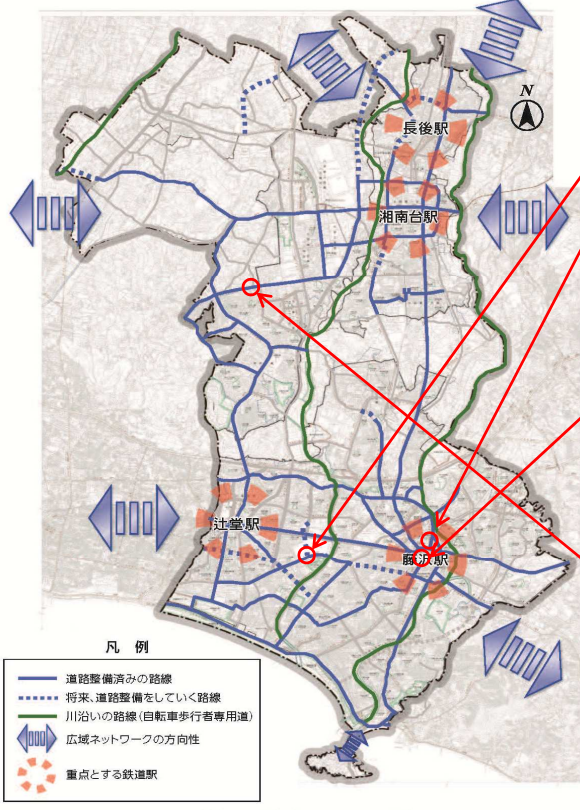
4. 議 事

- (1) 鉄道駅周辺の自転車走行空間づくり【藤沢駅】
- (2) 鉄道駅周辺の自転車走行空間づくり【辻堂駅】

5. 閉 会

2

(1) 平成27年度供用箇所



【走行空間整備】

- ① 県道30号(戸塚茅ヶ崎)(県)
 - ② 藤沢駅北口通り線・東西線
- ※前回報告済→説明省略

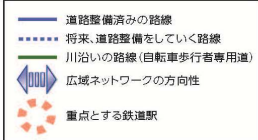
【駐輪環境整備】

- ③ 藤沢駅南口路上
- 第2自転車駐車場

【利用促進】

- ④ 矢尻バス停C & B R
- ※前回報告済→説明省略

凡例



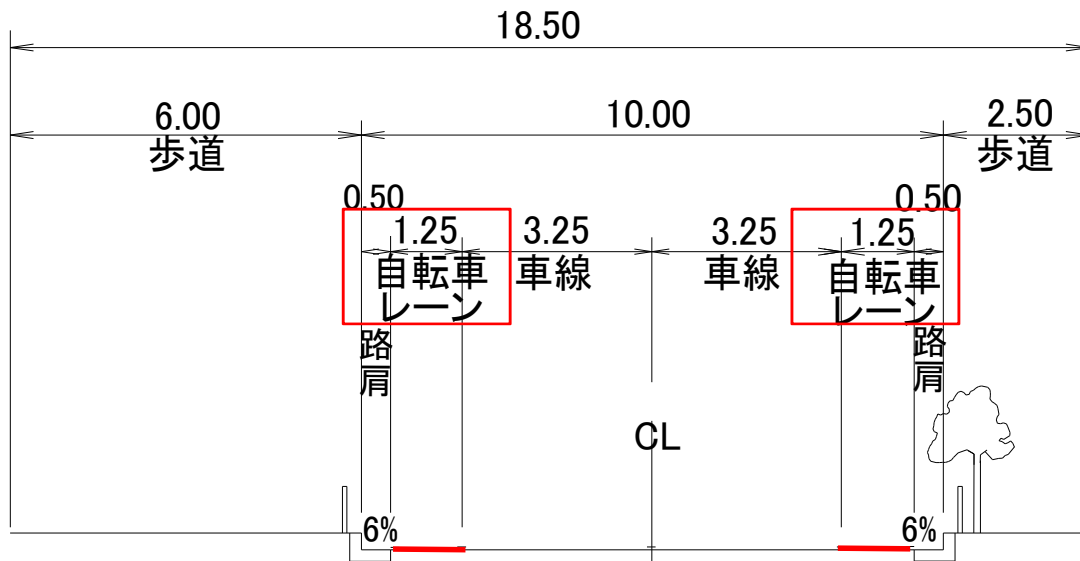
将来的な自転車ネットワーク路線

① 県道30号 (戸塚茅ヶ崎) (県) H27.12.25供用
位置図



① 県道30号 (戸塚茅ヶ崎) (県) H27.12.25供用

横断図



① 県道30号 (戸塚茅ヶ崎) (県) H27.12.25供用



③藤沢駅南口路上第2自転車駐車場 H28.1.4供用



③藤沢駅南口路上第2自転車駐車場 H28.1.4供用

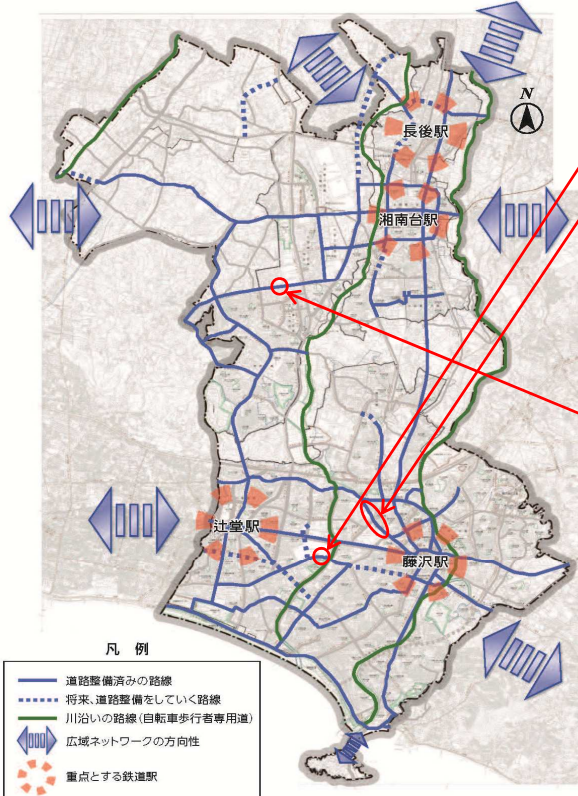


③藤沢駅南口路上第2自転車駐車場 H28.1.4供用

所在地	藤沢市南藤沢32	
構造	平面式(路上駐輪施設)	
収容台数	自転車	51台



(2) 平成28年度事業箇所 (案)



【走行空間整備】

- ① 県道30号(戸塚茅ヶ崎)(県)
- ② (都) 中学通り線

【駐輪環境整備】

※現在のところ、なし。

【利用促進】

- ③ 田方バス停C & B R

【交通ルールの遵守】

- ④ 各種啓発活動

※新年度予算の執行を伴う事業などについては、議会における予算の議決を前提としています。

将来的な自転車ネットワーク路線

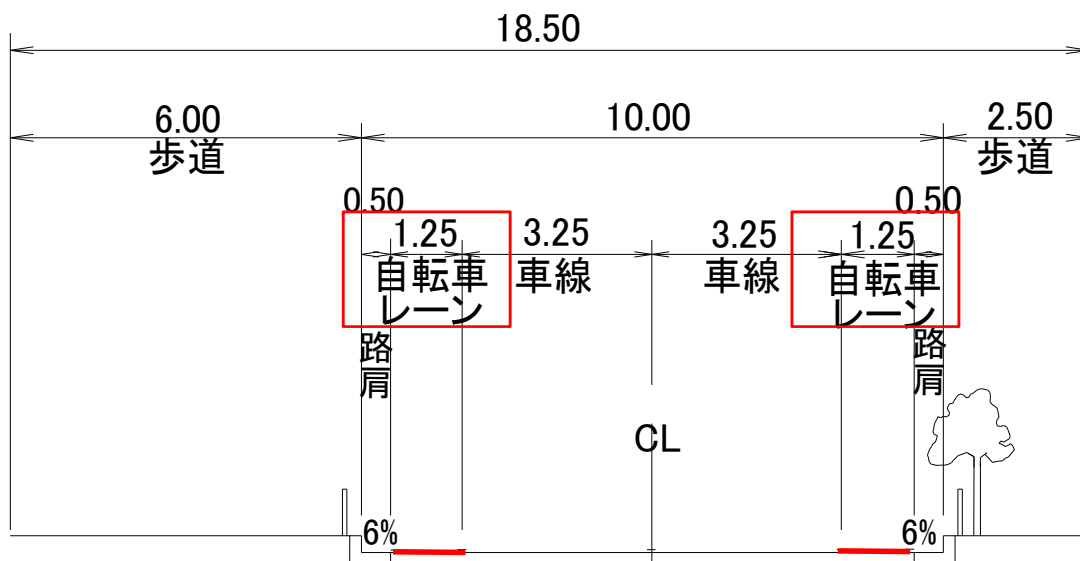
① 県道30号 (戸塚茅ヶ崎) (県)

位置図

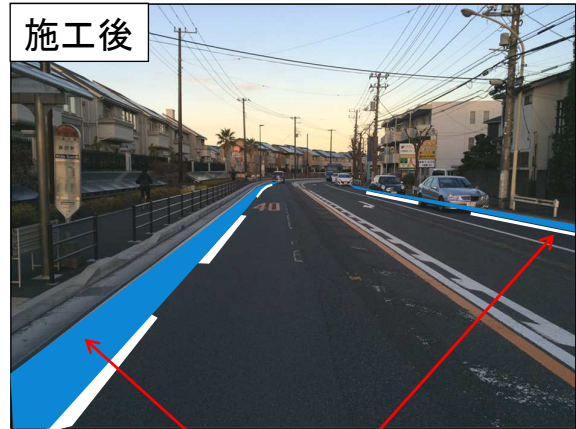


① 県道30号 (戸塚茅ヶ崎) (県)

横断図



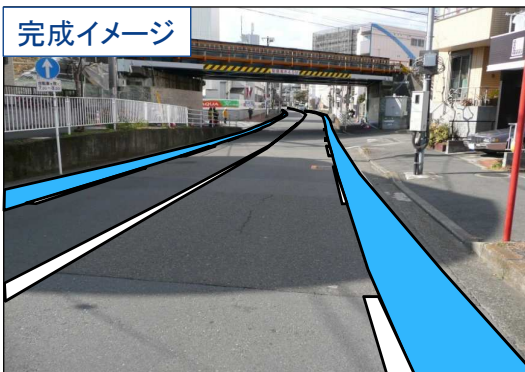
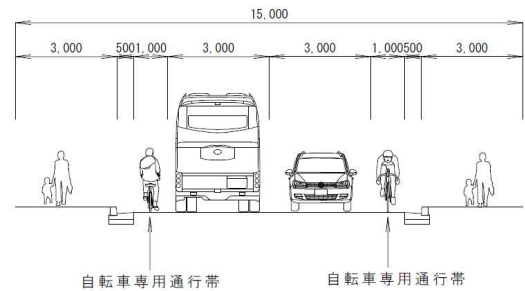
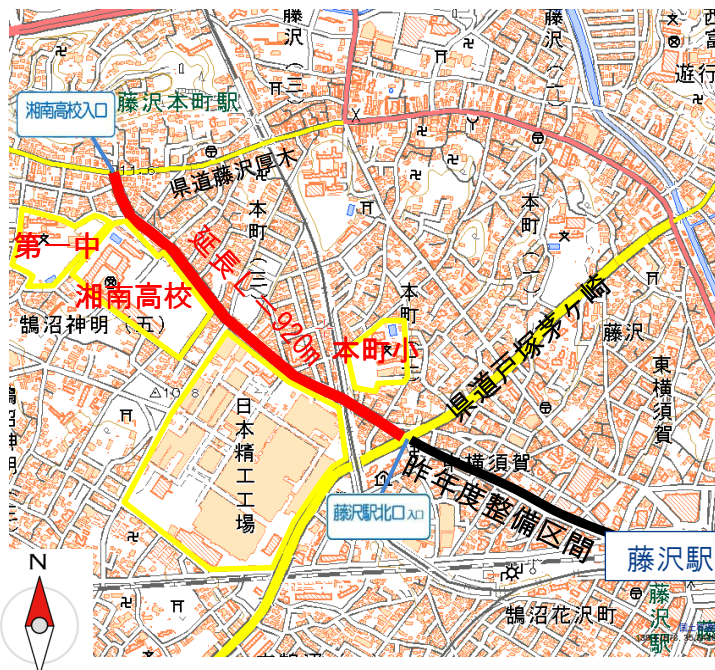
① 県道30号 (戸塚茅ヶ崎)



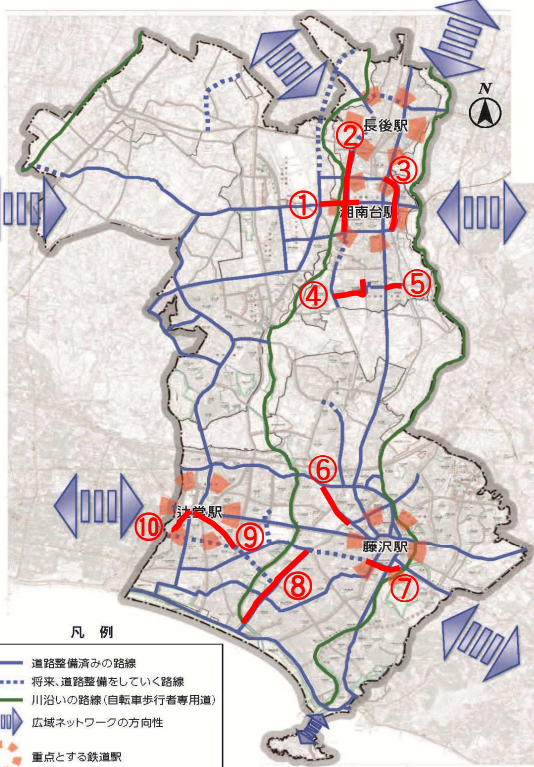
自転車レーン

② (都) 中学通り線 (先導的に取り組む路線以外の路線への当面の対応)

○位置図



(参考) 先導的に取り組む路線以外の路線への当面の対応



将来的な自転車ネットワーク路線

今後の整備スケジュール (イメージ)

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
⑥中学通り線	→						
⑤六会駅東口通り線		→					
③土棚石川線		→	→				
①高倉遠藤線			→				
②善行長後線				→	→		
⑩桜花園通り線				→	→		
⑨八松小学校北通り線					→		
⑧鶴沼海岸線						→	→
⑦鶴沼奥田線							→

③田方バス停C & B R



※水・灰色の円：バス停300m圏

A：湘南ライフタウン(詳細検討中) (16系統)

湘南ライフタウン・藤沢駅・湘南台駅・辻堂駅・善行駅
茅ヶ崎駅・綾瀬車庫・慶応大学・文教大学・保健医療C

B：矢尻バス停(H27.6.8～試験運用) (4系統)

湘南台・辻堂駅・綾瀬駅・文教大学・保健医療C

C：田方バス停 (3系統)

湘南台・辻堂駅・文教大学・保健医療C

D：寿照寺前バス停(詳細検討中) (3系統)

湘南台・辻堂駅・文教大学・保健医療C

※その他のバス停については、現在、調査中。

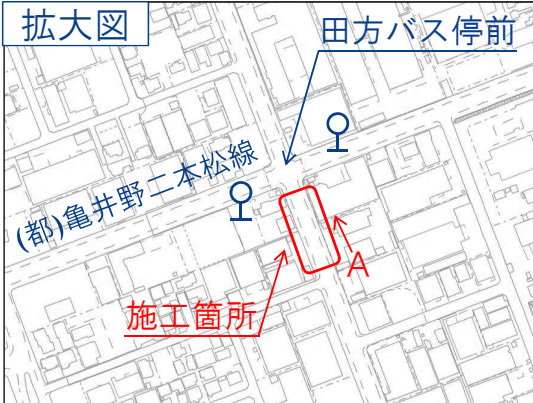
【参考】矢尻バス停C & B R



利用状況：概ね満車

※詳細については、次回、報告予定。

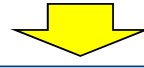
③田方バス停C & B R



①放置自転車が多く見受けられる。
(6/23:16台, 8/19:15台, 11/24:16台)



②事業効果が期待できる。
(放置自転車対策にもなり歩行者の安全性も向上)



③低木植栽を移植し, その空間に
C & B R施設を整備する。
(12台×両側=24台程度, 車道側にネットフェンス設置)

【行政的メリット】
低炭素化社会の実現, 社会保障費の抑制, 交通渋滞の緩和, バス路線の維持に寄与等
【利用者メリット】
健康づくり, 代替交通手段の確保, 高齢者の街中への移手段の確保, 交通費節約に寄与等

④各種啓発活動
【スケアードストレイトの実施】



写真は2015年9月5日村岡地区実施のもの

④各種啓発活動

【自転車街頭点検実施回数が増】

実施年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
実施回数	3回	2回 ※1回雨天中止	5回	9回
実施箇所	・ 鶴沼 ・ 六会 ・ 辻堂	・ 藤沢 ・ 長後	・ 片瀬 ・ 明治 ・ 六会 ・ 長後 ・ 遠藤	・ 鶴沼 ・ 明治 ・ 善行 ・ 六会 ・ 湘南大庭 ・ 湘南台 ・ 長後 ・ 御所見 ・ 遠藤
点検台数	260台	154台	261台	

④各種啓発活動

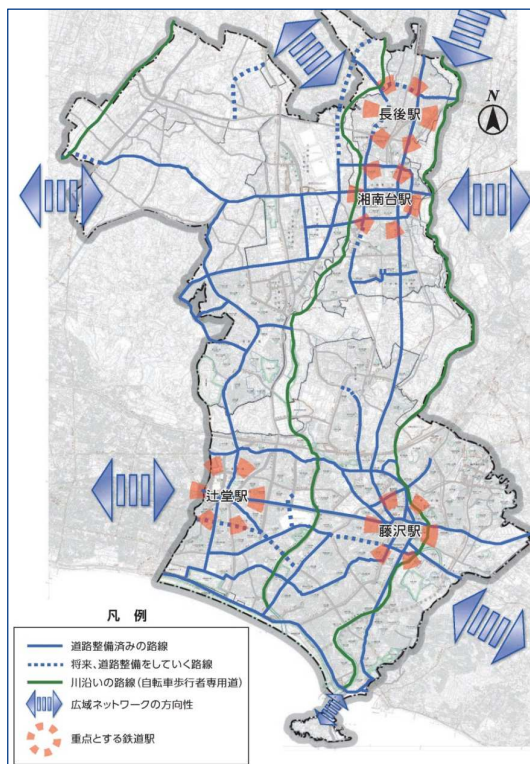
【啓発活動・教室の継続的实施】

- ・ 交通安全教室（年間約190回）
- ・ 交通安全ビデオ・DVDの貸出
- ・ 広報ふじさわ掲載
- ・ ホームページ掲載
- ・ ポスター掲示
- ・ チラシ配架
- ・ 自治会・町内会回覧
- ・ 四季の交通安全運動街頭キャンペーン
（市内13箇所）
- ・ 自転車マナーアップ運動（毎月5日・22日）
- ・ 防犯街頭キャンペーン（10月末）
（ワイヤーロック及びチラシの配付）
- ・ 自転車の日（5月5日）キャンペーンにおいて
3人乗り自転車体験及びチラシの配付

(1) 鉄道駅周辺の自転車走行空間づくり【藤沢駅】

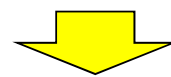
4. 議 事 (1)

1. はじめに

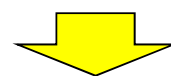


将来的な自転車ネットワーク路線

①市内の将来的な自転車ネットワーク路線は設定済だが、鉄道駅周辺（詳細）は、未設定。

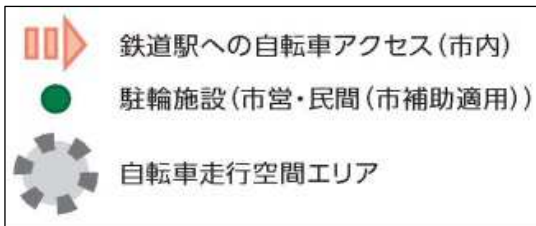
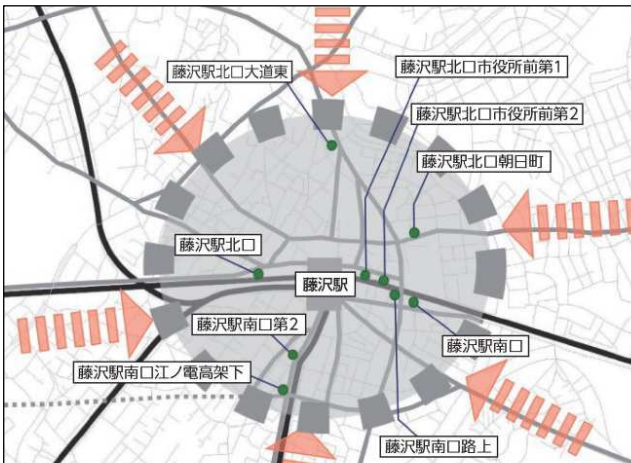


②駅周辺では交通が集中・錯綜し危険なことから、設定が必要。



③自転車利用が多い4駅のうち既に整備が進んでいる藤沢駅周辺において、設定を行う。

2. サイクルプランにおける位置付け (P65抜粋)



駅周辺の道路網とアクセス

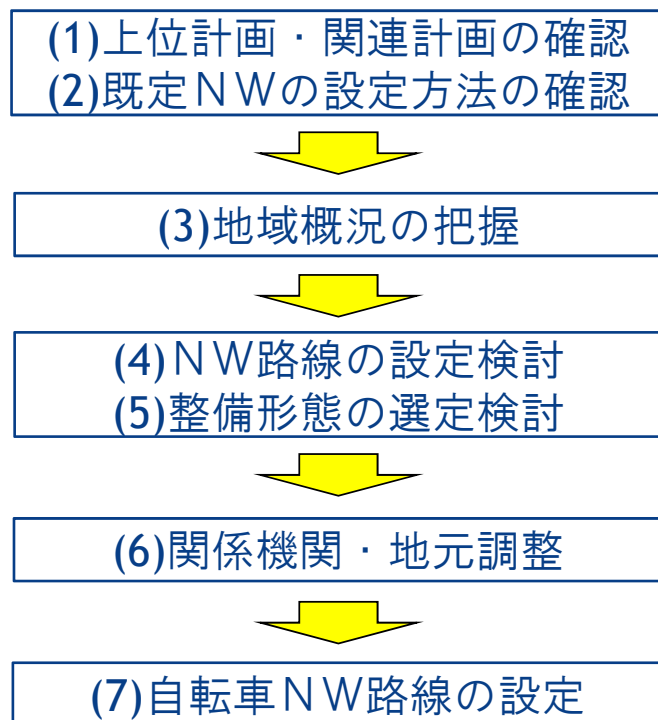
① J R 東海道線の北側

～都市計画道路を中心とした自転車ネットワーク路線を設定します。

② J R 東海道線の南側

～都市計画道路と都市計画道路を補完する市道を組み合わせて自転車ネットワーク路線を設定します。

3. 設定フロー (案)



4. 上位計画・関連計画の確認

(1) 藤沢市都市マスタープラン(P94抜粋)

■藤沢駅周辺におけるユニバーサルデザインによる空間整備や、歩行・自転車・バス等様々な交通手段で安心して駅及び駅周辺に来街できるアクセス、輻輳する交通環境の改善を推進します。

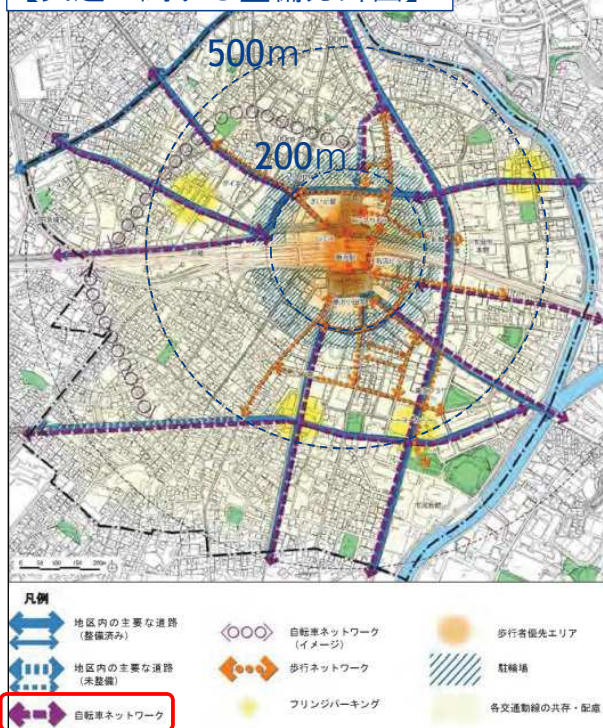
(2) 藤沢市交通マスタープラン(P95抜粋)

■藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画に基づく事業を推進します。

■藤沢駅周辺における歩行者が快適に回遊できる歩行空間や、自転車が通行しやすい利用空間づくりなど、安全・安心して移動、アクセスしやすい中心市街地の活性化につながる交通環境の改善を図ります。

(3) 藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画(P39～40抜粋等)

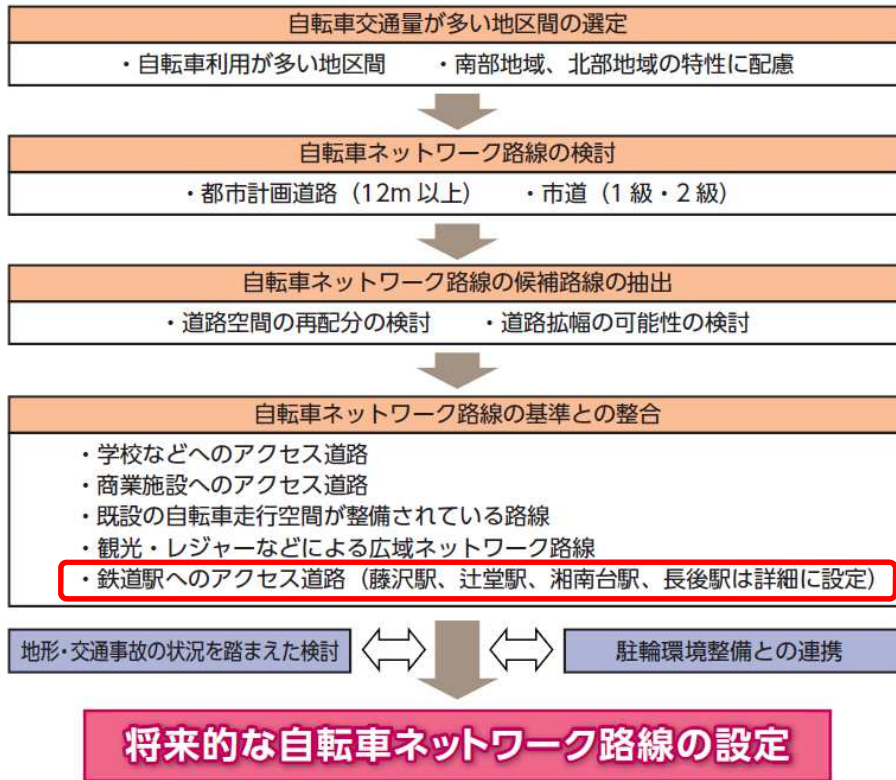
【交通に関する整備方針図】



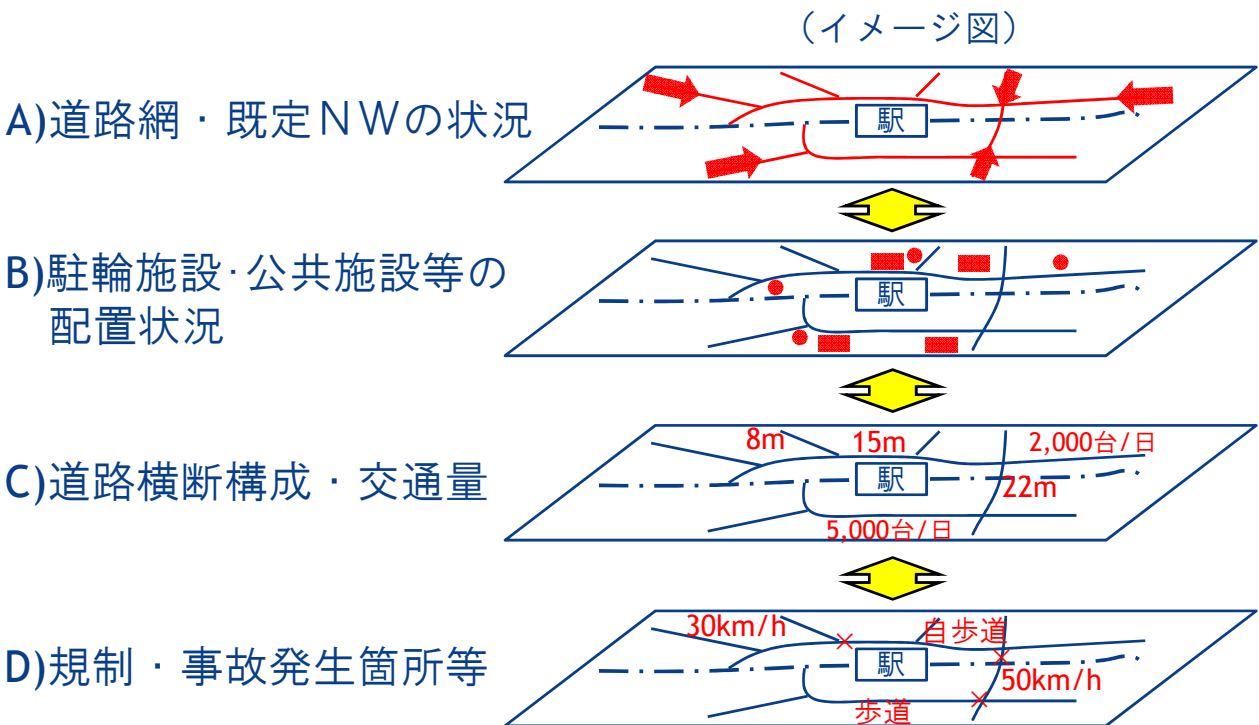
○自転車ネットワークは、**幹線道路を中心に形成する。**



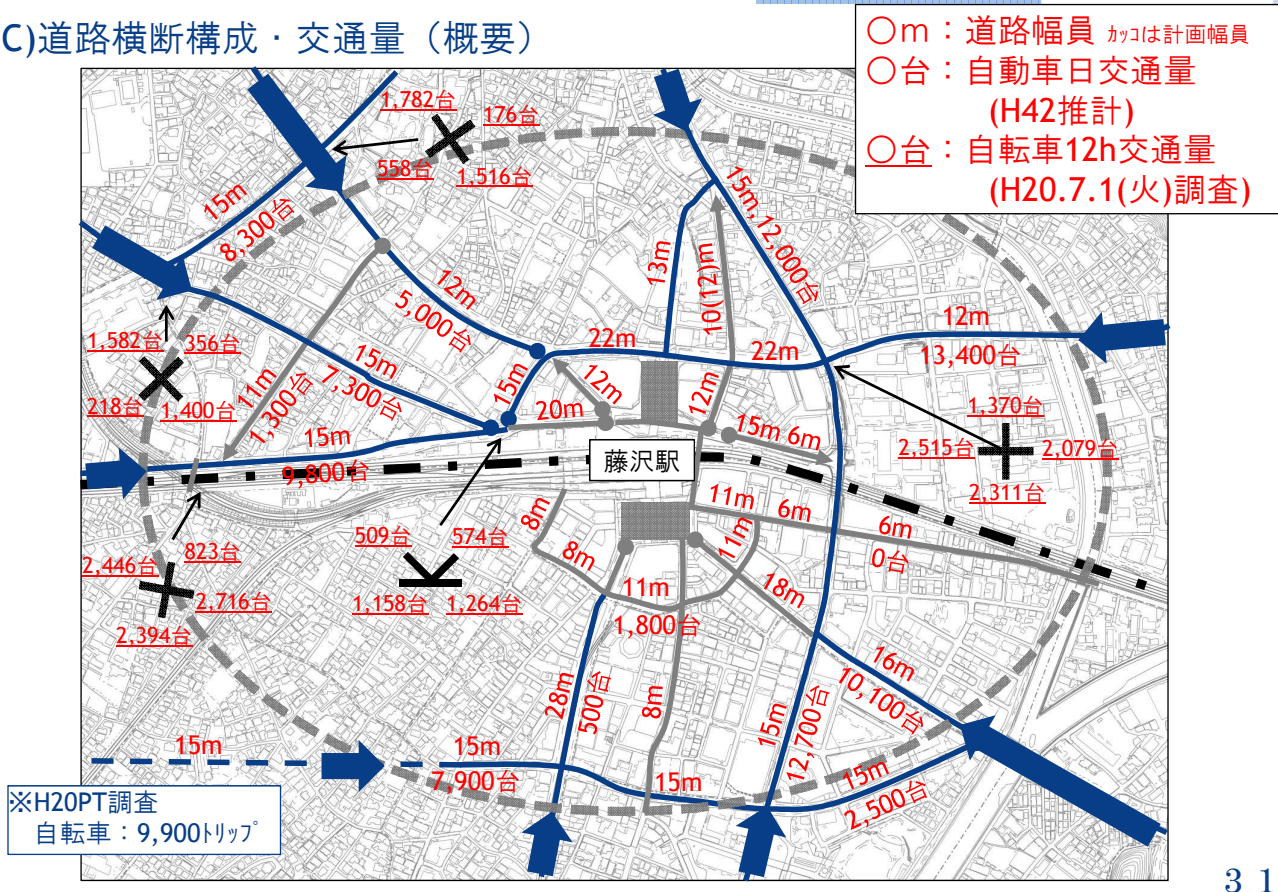
5. 既定NWの設定方法の確認(P41抜粋)



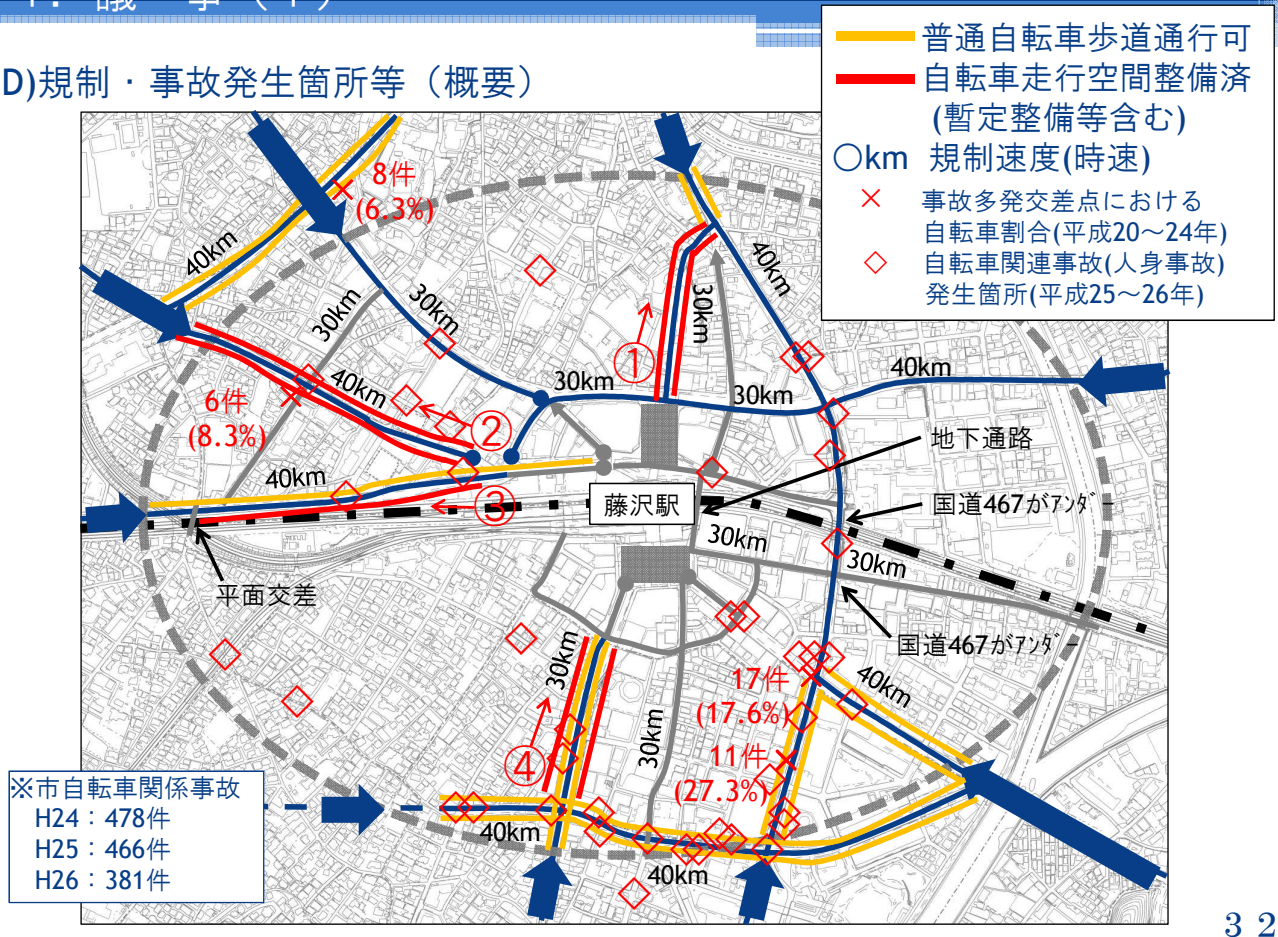
6. 地域概況の把握



C)道路横断構成・交通量（概要）



D)規制・事故発生箇所等（概要）





3 3

7. NW路線の設定検討

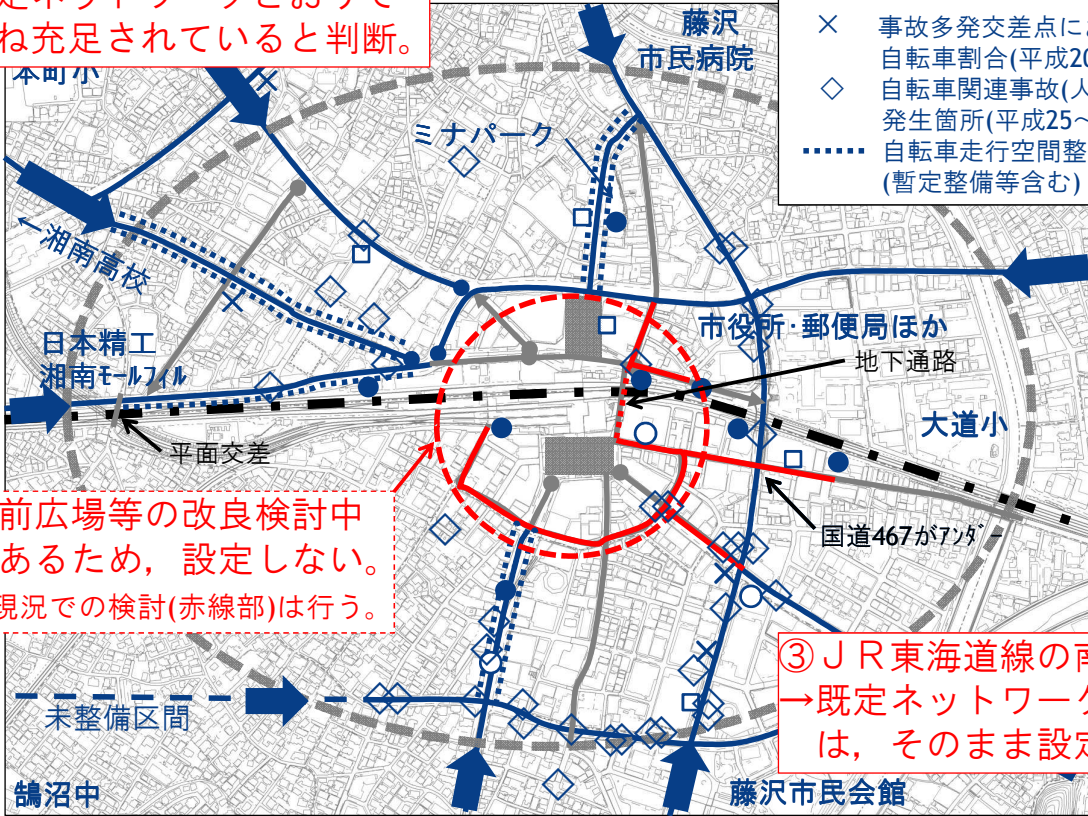
- 既定NW 駐輪施設・公共施設等を結ぶ路線
- 自転車事故が多い路線
- 地域の課題やニーズに応じて促進する路線
- 既に整備されている路線
- 連続性を確保するために必要な路線

※必要に応じて、押し歩き区間導入についても検討

3 4

① J R 東海道線の北側
→既定ネットワークどおりで概ね充足されていると判断。

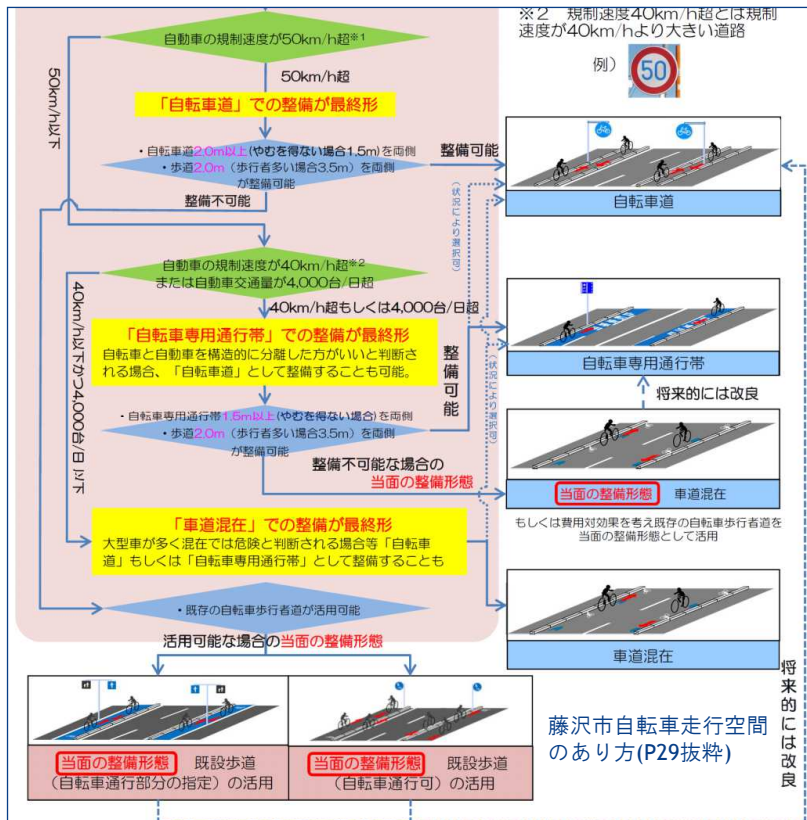
- 市営・民営(補助有)・その他駐輪施設
- × 事故多発交差点における自転車割合(平成20~24年)
- ◇ 自転車関連事故(人身事故)発生箇所(平成25~26年)
- 自転車走行空間整備済路線(暫定整備等含む)

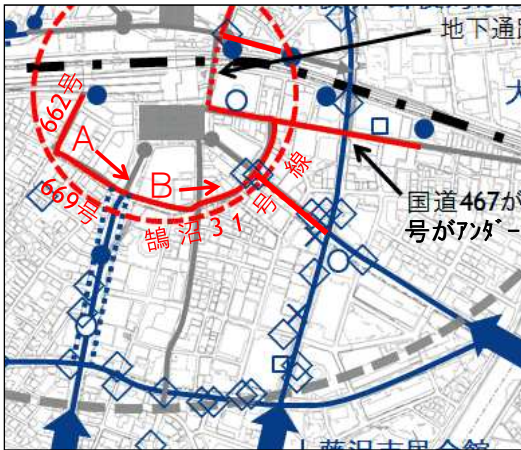


② 駅前広場等の改良検討中であるため、設定しない。
※現況での検討(赤線部)は行う。

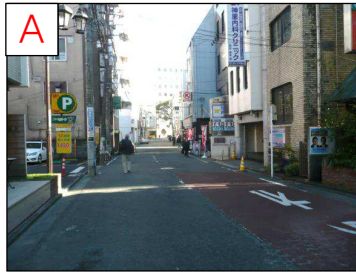
③ J R 東海道線の南側
→既定ネットワーク部分は、そのまま設定。

8. 整備形態の選定検討





鵜沼662～669号線



道路幅員8.0m (歩道なし)
0.5 3.5 3.5 0.5

鵜沼31号線



道路幅員11.0m (両側歩道)
2.25 2.75 2.75 2.25
0.5 0.5

規制速度：30km/h
自動車交通量：1,800台/日
(H42推計)
↓
車道混在(矢羽根)

歩道空間を確保するため、外側線を絞れるかについて、関係機関等と調整必要

施工可能

NW路線として検討



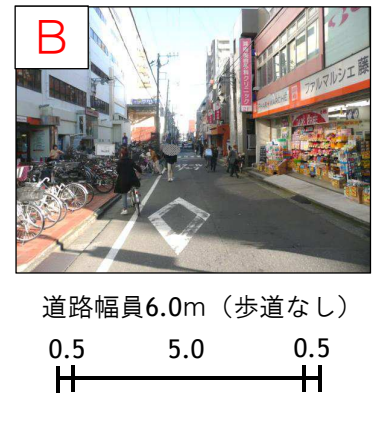
道路幅員18.0m (両側歩道)
4.0 4.5 4.5 4.0
0.5 0.5

規制速度：40km/h
自動車交通量：10,100台/日
(H42推計)
↓

自転車専用通行帯
※車道混在(暫定)
※自歩道活用(暫定)

道路幅員上
施工可能

NW路線として検討



規制速度：30km/h
自動車交通量：0台/日
(H42推計)

↓
車道混在(矢羽根)での整備

施工可能

断面に対して交通量
が多く、対策困難

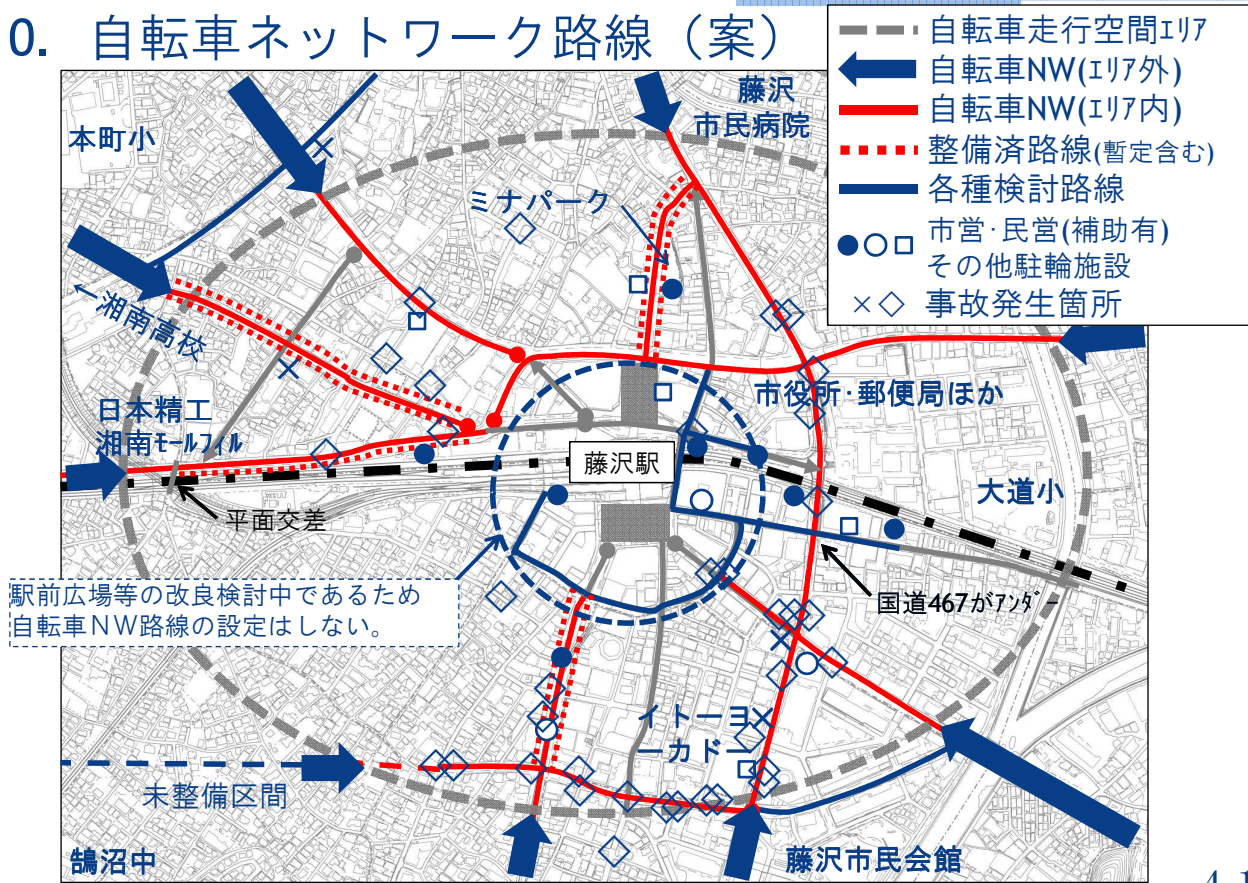
NW路線として検討
(※荷捌き車両との調整必要)

押し歩き
等の検討

9. 関係機関・地元調整

順次，実施予定。

10. 自転車ネットワーク路線 (案)



11. 今後の自転車走行空間づくり

(1) 自転車NW路線の設定 (予定)

- 平成28年2月 第4回協議会 (今回)
- 平成28年4月～ 関係機関・地元調整
- 平成29年2月 第6回協議会 (報告)

(2) 今後の自転車走行空間づくり (P65抜粋)

～地域の方々, 商業関係者, 交通事業者, 関係機関と連携を図りながら, 鉄道駅周辺の自転車走行空間づくりを進めていきます。

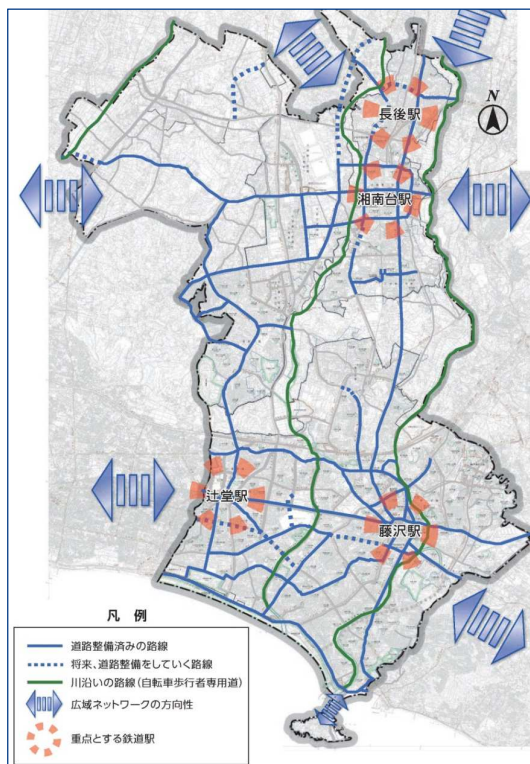
(3) 今後の整備目標 (P80抜粋)

評価指標	現状	目標 (平成26年度～平成35年度)
藤沢駅周辺の自転車走行空間の充実度	—	<u>設定したエリア内の整備をめざします。</u>

(2) 鉄道駅周辺の自転車走行空間づくり【辻堂駅】

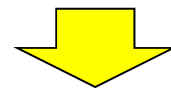
4. 議 事 (2)

1. はじめに

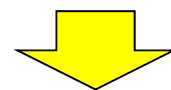


将来的な自転車ネットワーク路線

①市内の将来的な自転車ネットワーク路線は設定済だが、鉄道駅周辺(詳細)は、未設定。



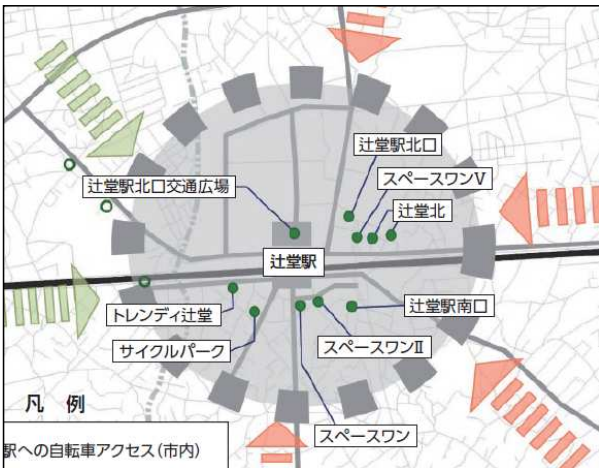
②駅周辺では交通が集中・錯綜し危険なことから、設定が必要。



③自転車利用が多い4駅のうちトリップ数が最も多い辻堂駅周辺において、設定を行う。

※H28.12, 駅開設百周年

2. サイクルプランにおける位置付け (P66抜粋)



- 鉄道駅への自転車アクセス(市内)
- 鉄道駅への自転車アクセス(市外)
- 駐輪施設(市営・民間(市補助適用))
- 駐輪施設(市外)
- 自転車走行空間エリア

駅周辺の道路網とアクセス

① J R 東海道線の北側

～都市計画道路を中心とした自転車ネットワーク路線を設定します。

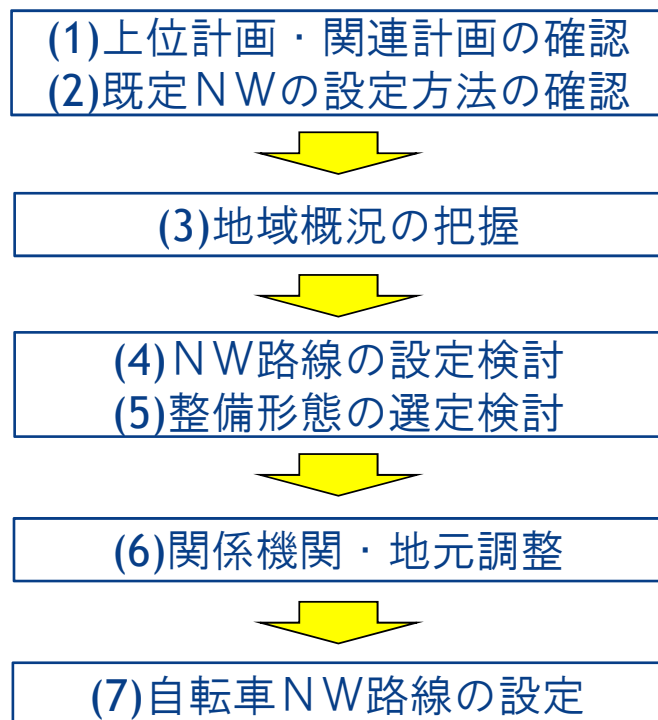
② J R 東海道線の南側

～都市計画道路と都市計画道路を補完する市道を組み合わせて自転車ネットワーク路線を設定します。

③ その他

茅ヶ崎市域からの自転車利用が多いことから、「ちがさき自転車プラン」との整合を図る。

3. 設定フロー (案)



4. 上位計画・関連計画の確認

(1) 藤沢市都市マスタープラン(P79抜粋)

■歩行者や自転車の利用者が安心して快適に移動できるように、共存できる道路づくりや自転車利用の促進を図ります。

(2) 藤沢市交通マスタープラン(P101抜粋)

■辻堂駅周辺における歩行者や自転車が快適に回遊できる空間づくりなど、安全・安心して移動できる交通環境づくりを進めます。

(3) 辻堂駅周辺地区まちづくり方針(H17.7, P21抜粋)

・ 主要な歩行者空間ネットワークでは、環境に優しい乗り物である自転車が円滑に走行できるように整備する。

(4) 茅ヶ崎市 自転車ネットワーク計画(H27.3茅ヶ崎市、P21抜粋)

自転車利用が多い拠点(※)を整理し、幹線市道を対象として拠点間を結ぶネットワークを考慮し、選定します。

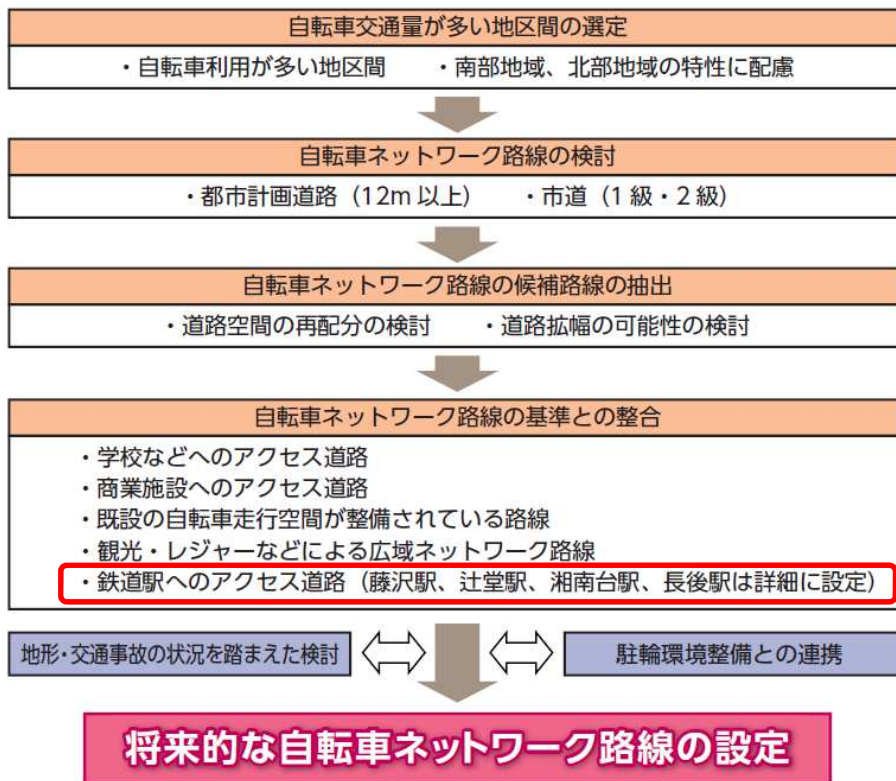
※日常生活の中心になる駅、駐輪場(大規模商業施設等)、高等学校、公共施設(市役所)



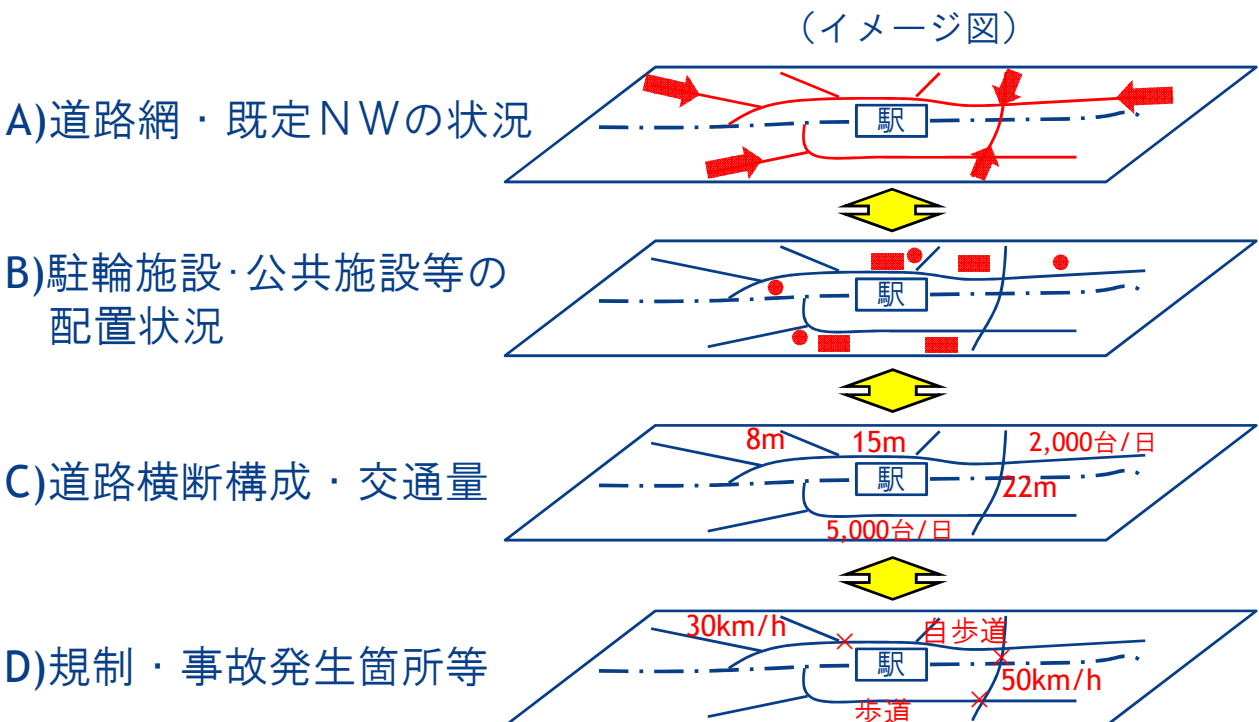
赤松通り・浜竹通りがネットワーク計画に位置付け



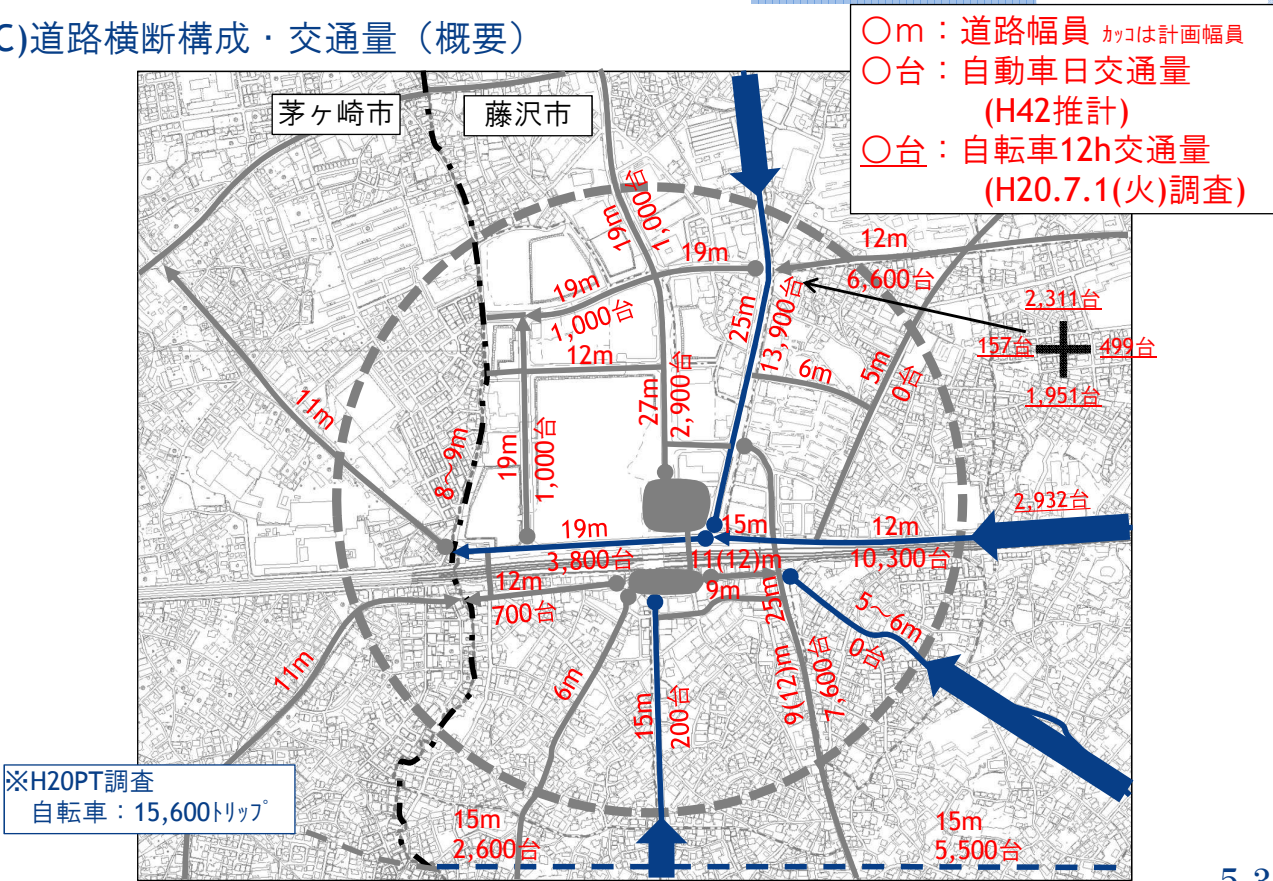
5. 既定NWの設定方法の確認(P41抜粋)



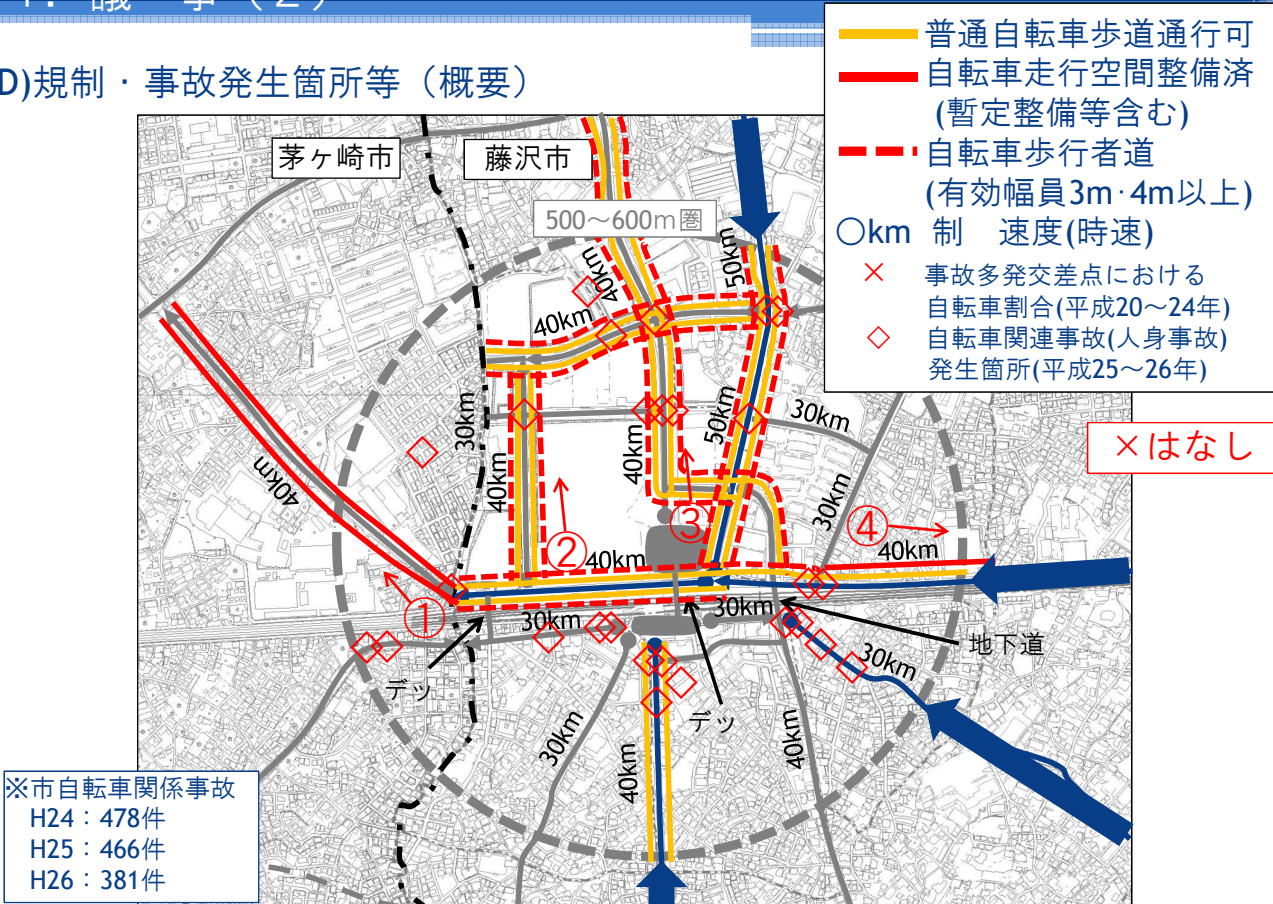
6. 地域概況の把握



C)道路横断構成・交通量 (概要)



D)規制・事故発生箇所等 (概要)





③ 自転車が円滑に走行できる幅員
で整備済(法定外標 はなし)

5 5

7. NW路線の設定検討

- 既定NW 駐輪施設・公共施設等を結ぶ路線
- 自転車事故が多い路線
- 地域の課題やニーズに応じて促進する路線
- 既に整備されている路線
- その他, 連続性を確保するために必要な路線

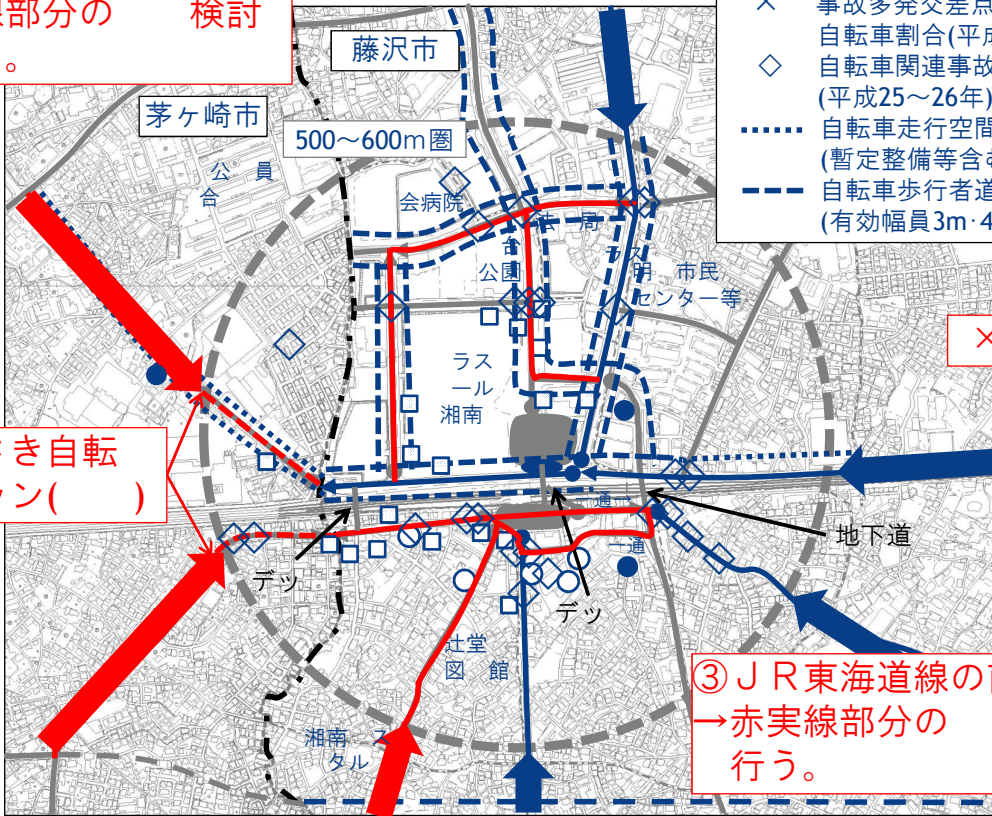
※必要に応じて,押し歩き区間導入についても検討

5 6

① J R 東海道線の北側
→ 赤実線部分の 検討
を行う。

② ちがさき自転
車プラン()

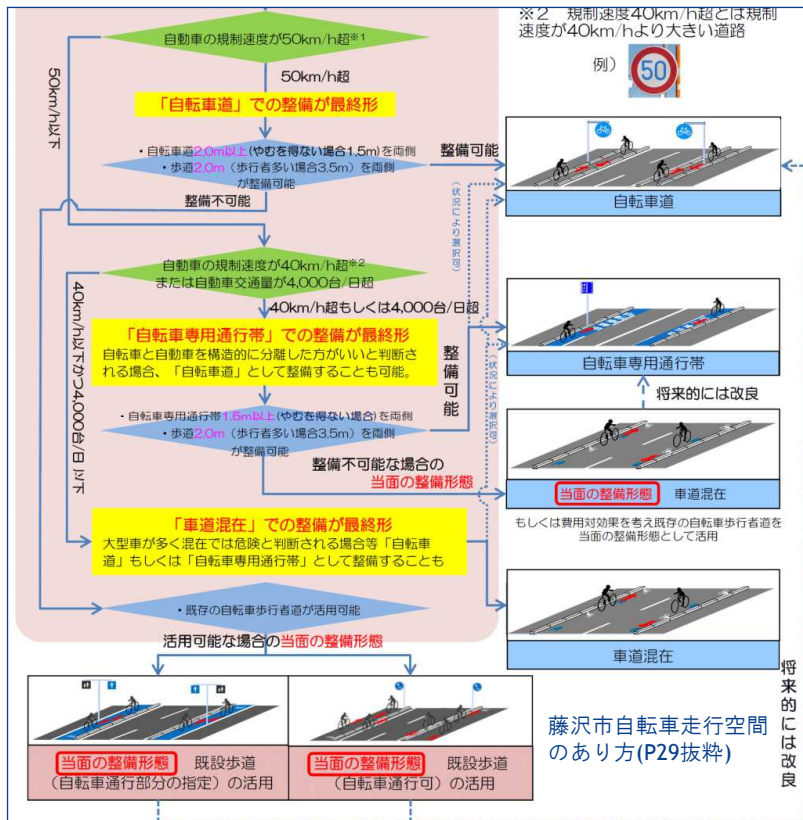
- 市営・民営(補助有)・
その他駐輪施設
- × 事故多発交差点における
自転車割合(平成20~24年)
- ◇ 自転車関連事故発生箇所
(平成25~26年)
- 自転車走行空間整備済路線
(暫定整備等含む)
- - - 自転車歩行者道
(有効幅員3m・4m以上)

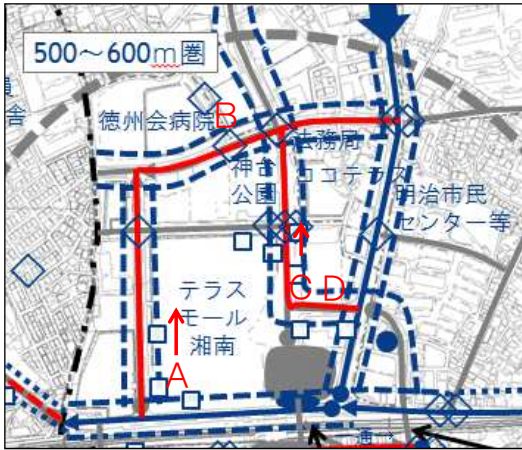


× はなし

③ J R 東海道線の南側
→ 赤実線部分の 検討を
行う。

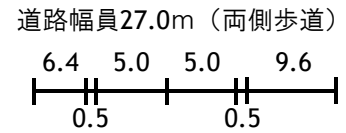
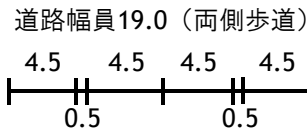
8. 整備形態の選定検討





A・B・D

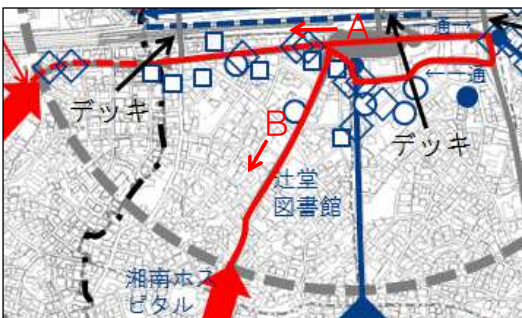
C



規制速度：40km/h
 自動車交通量：1,000~2,900台/日等(H42推計)
 ↓
 車道混在(矢羽根)

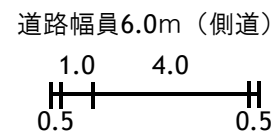
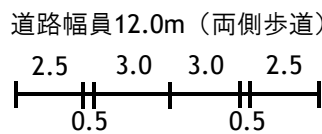
自転車歩行者道(4 m以上)として整備済。
 必要に応じ、法定外標 等の検討を行う。

NW路線として設定



(都)辻堂駅 田線等

(2)桜花園通り線



規制速度：30km/h
 自動車交通量：700台/日等(H42推計)
 ↓
 車道混在(矢羽根)

施工可能

第2回協議会にて選定済

NW路線として設定

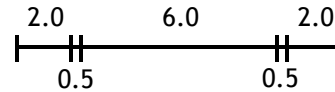


(都)辻堂停車場線

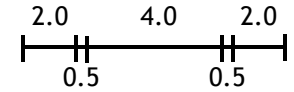
辻堂446号線等



道路幅員11.0m (両側歩道)



道路幅員9.0m (両側歩道)



規制速度：30km/h
 自動車交通量：-台/日等
 (H42推計)

↓
 車道混在(矢羽根)

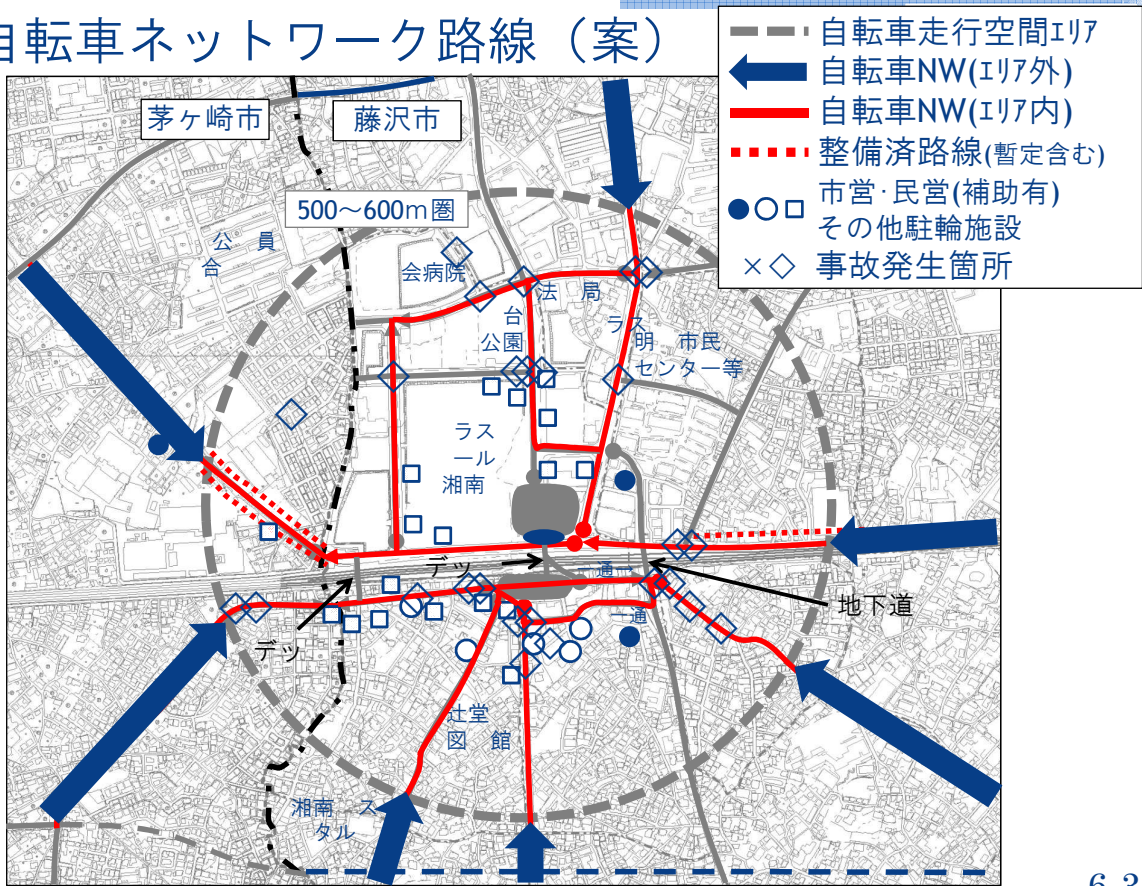
↓
 施工可能 (一方通行)

↓
 NW路線として設定

9. 関係機関・地元調整

順次，実施予定。

10. 自転車ネットワーク路線 (案)



11. 今後の自転車走行空間づくり

(1) 自転車NW路線の設定 (予定)

- 平成28年2月 第4回協議会 (今回)
- 平成28年4月～ 関係機関・地元調整
- 平成29年2月 第6回協議会 (報告)

(2) 今後の自転車走行空間づくり (P66抜粋)

～地域の方々, 商業関係者, 交通事業者, 関係機関と連携を図りながら
鉄道駅周辺の自転車走行空間づくりを進めていきます。

(3) 今後の整備目標 (P80抜粋)

評価指標	現状	目標 (平成26年度～平成35年度)
辻堂駅周辺の自転車走行空間の充実度	—	設定したエリア内の整備をめざします。